



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Seisansei Shimbun (5 October 2015, Japan)

Page: 1

生産性向上で日韓協力

KPPC会長がJPPC来訪

韓国生産性本部（KPPC）のホン・スンジック会長が9月15日、東京・渋谷の日本生産性本部（JPPC）を訪れ、松川昌義・同本部長と会談した。今回の来訪は、アジア

ア生産性機構（APO）の協力事業の一環として、生産性向上に向けた産業人材育成や、経済のサービス化と生産性指標に関する課題などについての日韓の意見交換を主な目的としたものだ。冒頭、ホン会長は、「少子化やサービス産業の生産性向上など日韓両国が抱える課題は類似している点も多く、これまで以上に生産性本部間の密接な協力が必要とされている。JPPCは、サービス産業を対象とした内閣総理大臣賞等の表彰制度の創設など、日本政府と連携し生産性向上を図る試みは興味深く、活動の参考にしたい」とあいさつした。

これを受けて、松川本部長は、「これまで貴国とは、APOを通じて、両国の生産性運動から得られた知見を共有し相互の課題解決に資するよう協力してきた。日本は人口減少による労働市場の逼迫が深刻化しつつあり、この苦境を乗り越えるため、国の施策として『生産性革命』を標榜

し新たな運動を展開しようとしている」と現状を説明した上で、「JPPCもGDPや雇用の約70%を占めるサービス産業の生産性向上に寄与すべく『日本サービス大賞』を創設するなど、生産性革命を推進する活動を展開している」と取り組みの一端を紹介した。

ホン会長は、JPPC訪問に先立ち、14日は天野万利APO事務局長を表敬訪問。JPPC訪問の翌16日には東京都専修学校各種学校協会を訪問し、専門技術・技能の習得と若年労働者の就業促進、各種専修学校への外国人留学生の日本での就労状況等について積極的な意見交換を行った。

握手を交わすホンKPPC会長（右）と松川理事長（左）